

## 編集後記

編集長 東野 定律

2018年も残り僅かとなりました。今年は平成の天皇陛下が、生前退位されることが決まり、平成最後の冬となりました。

2018年を振り返ると、記録的な豪雨、大型台風の到来、異常な猛暑、大規模地震など自然災害が多く発生した年でした。こうした自然災害の影響に加え、人手不足の深刻化も重なり個人消費や輸出、設備投資などが悪化、予定されている「消費税増税」が最大の懸念材料になって2019年は景気が悪化局面を迎えるのではないかともいわれている。

経済の好循環を達成するためには、政府は人手不足の緩和や消費活性化に向けた政策を推し進めることが一段と重要になってくる。

一方、2018年は年間を通じて、AI関連のニュースを目にしない日はないほどでした。

経営資源はこれまで「人・モノ・金」だったが、AIの進化によってAIが意思決定サポートを行い、それらを管理するデータや機械に主体が移って「人・データ(情報)・機械」になっていくともいわれています。

今回投稿された2本の論文は、IoTや機械学習などのICTが注目され、これらの活用に向けた動きが加速している中で、ゲームや会議といった身近な場において活用を試みたユニークな研究内容となっています。

今後もこうした様々な観点からみた研究論文のご寄稿を賜りたく存じます。